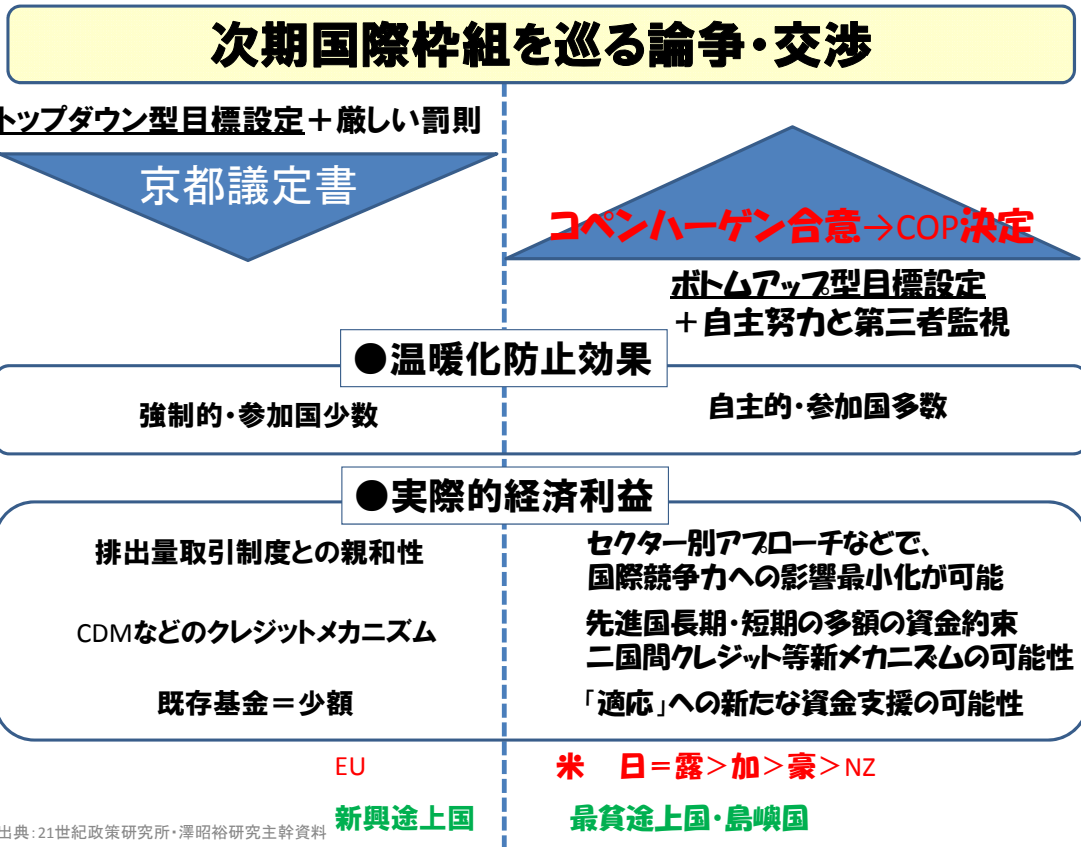
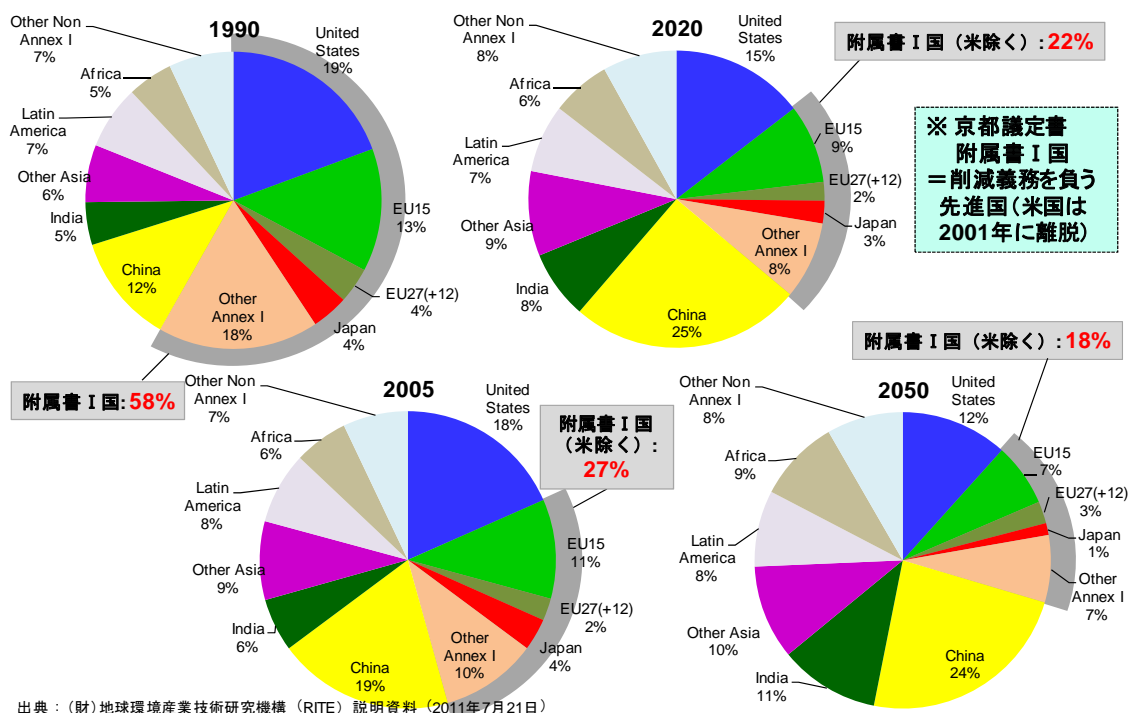


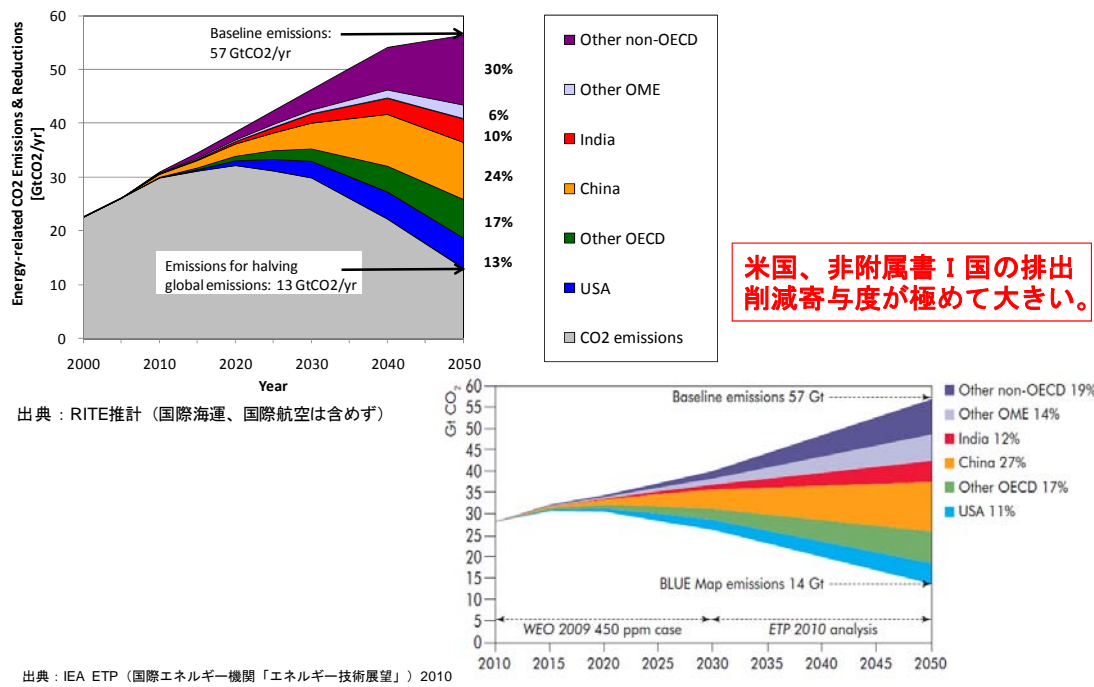
【参考 1】 トップダウン型とボトムアップ型の比較



【参考 2】 世界の温室効果ガス排出量シェアの長期的見通し

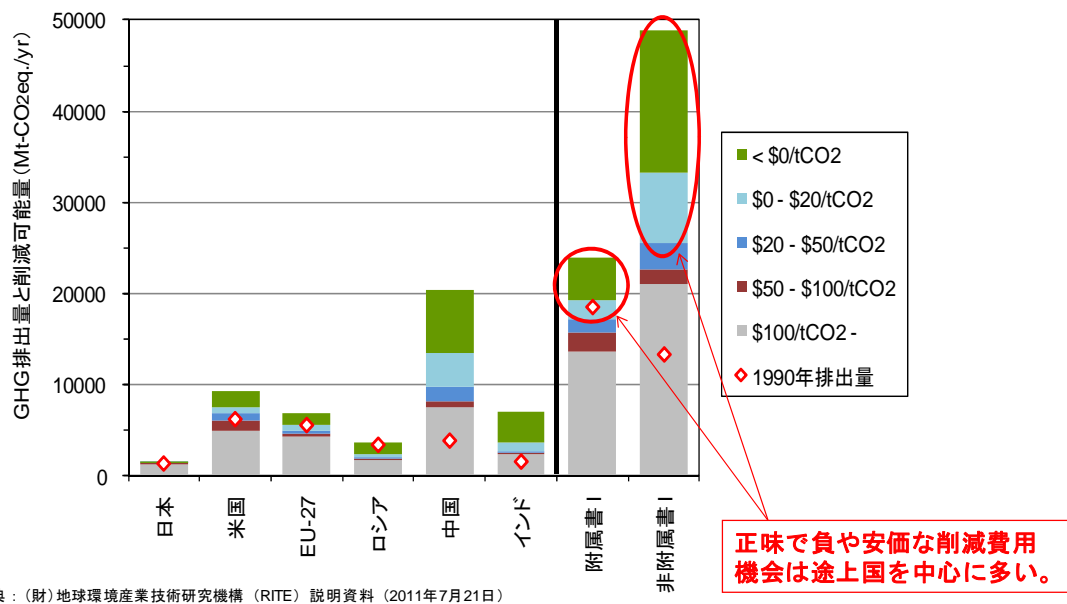


【参考 3】 ベースライン CO2 排出量および世界半減のための地域別排出削減

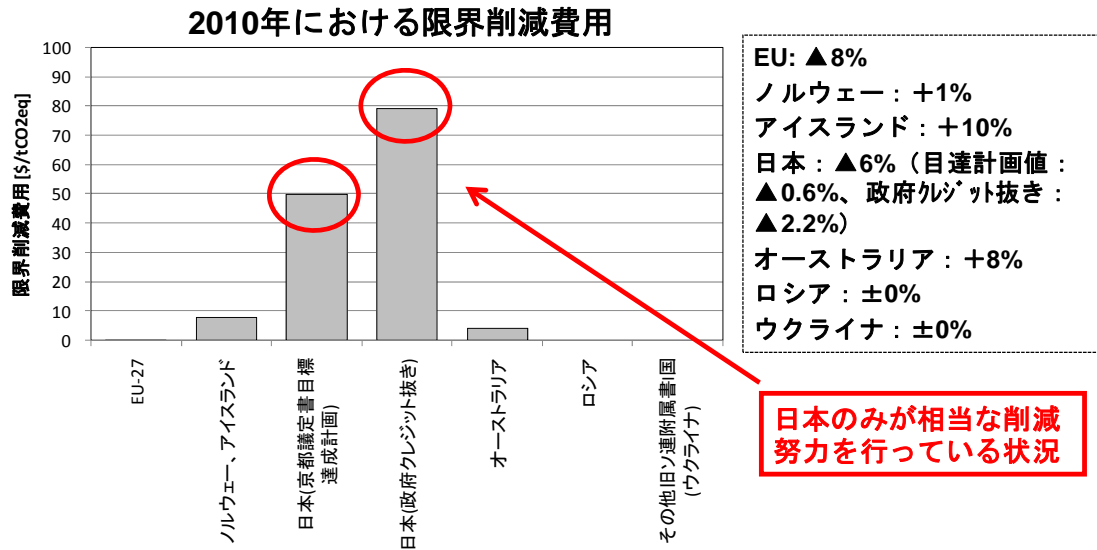


【参考 4】 2020 年における限界削減費用別温室効果ガス排出削減ポテンシャル

技術固定ケースの2020年排出量（2005年時点の温暖化対策レベルが2020年まで全く変化しないと仮想的に想定した排出量）からの削減可能量



【参考 5】 京都議定書の下での先進国間の限界削減費用比較



- ◆ 日本については、京都議定書目標達成計画の限界削減費用は\$50/tCO₂eq.程度、さらに政府クレジットを利用しなかった場合には\$80/tCO₂eq.程度
- ◆ EU-27はほぼ\$0/tCO₂eq.で達成可能（旧東欧諸国の削減余地が大きいため）

出典：(財)地球環境産業技術研究機構（RITE）説明資料（2011年7月21日）